

2011年12月22日

国立大学法人三重大学
学長 内田 淳正 様

三重大学教職員組合
中央執行委員長 後藤 洋子

2010年度団体交渉事項に係る確認の申し入れ

昨年度開催された団体交渉の議事録を改めて確認したところ、内田学長が交渉の場で発言された内容が実現されていない、あるいは発言内容とその後の展開が食い違っていると見なさざるを得ない点がいくつか見いだされました。このような事態が続くようであれば、何のための団体交渉であるのか、その意義が問われかねませんし、大学の民主的運営による発展・充実という観点からもマイナスです。つきましては、下記の点について進捗状況はどのようなになっているのかご説明ください。万が一、ご発言内容の履行が困難となったのであればその理由をお示しください。

なお、本件につきましては、本年度の団体交渉開催前に文書にてご回答願います。

確認事項

1. 人員管理計画について、学長は人件費総枠が削減されるという環境下、組合委員長や過半数代表も含む教員全体と今後の方向性を話し合っていきたい旨発言しておられるが、そのような話し合いの場が設けられた事実は認められません。そもそもかかる協議の場は予定されているのでしょうか。実施する予定がない場合はその理由をお聞かせください。

2. 1とも関係しますが、学長は定年延長を含め、人事制度に関する重要な方針決定に際して、あらかじめアンケート調査等の方法を

用いて教員の総意を把握されたい旨発言しておられます。こうした調査はいつどのような形で実施されるのかご説明ください。もし、実施しないということであればその理由をお聞かせください。

3 . 環境情報科学館の内容についてボトムアップで議論する旨を学長は希望しておられました。また「出来上がった時に作ってよかったなあとみんなが言える状態にしたいと思うので、学長以下、みんなで行きましょう。」との事務局長の発言も議事録に残っております。さらにこれらと関連するところでは、環境情報科学館のハード・ソフト両面にわたる環境整備について「内部の具体的なものについては年明け早々に、皆さんからあとどういうものを入れてほしいかという希望を募ります」との学長発言がありました。以上の発言が反映された、皆で議論する場や意見聴取の機会はその後実際に設けられたのでしょうか。あるいは、今後予定されているのでしょうか。もし、こうした機会を用意する予定がないのであればその理由をご説明ください。

以上